

Yamaka Topics ヤマカトピックス

外食市場拡大。32兆円



2024年度の国内の外食市場規模は前年比2.9%増の32兆円を超える見通しだそうです。コロナ禍から外食が回復。2019年度を上回りました。業態別にみるとファーストフードはテイクアウト、デリバリーと好調を維持、寿司、うどん、そば店、カフェなどの専門性の高い業態も回復している一方で居酒屋、レストランは宴会需要がもどりつつあるものの店舗数がコロナ禍で減少した結果、コロナ前の水準に追いついていない状況だそうです。

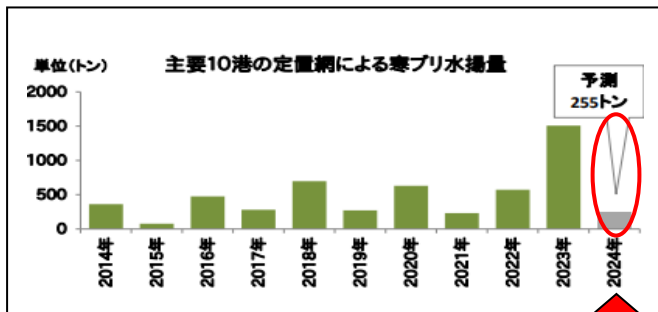


サンマ漁 回復も低水準

サンマの漁獲が歴史的な不漁からやや改善しています。ただ、実態としては2020年大の不漁と比べ、わずかに回復しただけで、2010年代と比較すると8割少ない状況。一部の報道では「豊漁」を強調しているが実態とは乖離しています。低迷していた資源の回復は微かな光明ですが、まだまだ課題が多いです。国際的な資源管理の一層の強化の下、サンマ漁の復活を期待したいところです。

入荷状況

12月のさかな
ズワイガニ
コウバコガニ
ブリ ◎
タラ ◎
甘エビ ◎
ナマコ ◎
フグ(ムキフグ)
カキ
ヤリイカ
アンコウ



今年の寒ブリ漁況

2年前のガンド(2~4kg)の水揚げが多く、石川県沖、佐渡沖の海水温が高温の状態であればブリの水揚げは多くなる傾向にあるそうです。今年はどうか。2年前のガンドの水揚げは平年並みで能登半島東方の100m深水温は平年より低め、佐渡島北東の100m深水温も低いと予想されています。これらの情報から今期の寒ブリの水揚げ量は過去10年平均を下回ると予想されています。**地物ズワイガニ**は漁獲枠が増枠されました。天候次第ですが、今のところ価格、量ともに安定しています。**コウバコ**は今年は割安感があり、扱い易くなっています。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせ下さい。